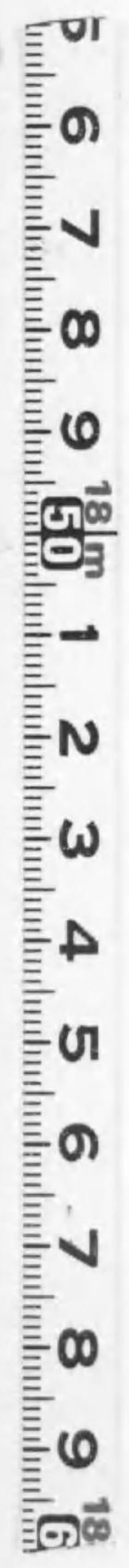


特116

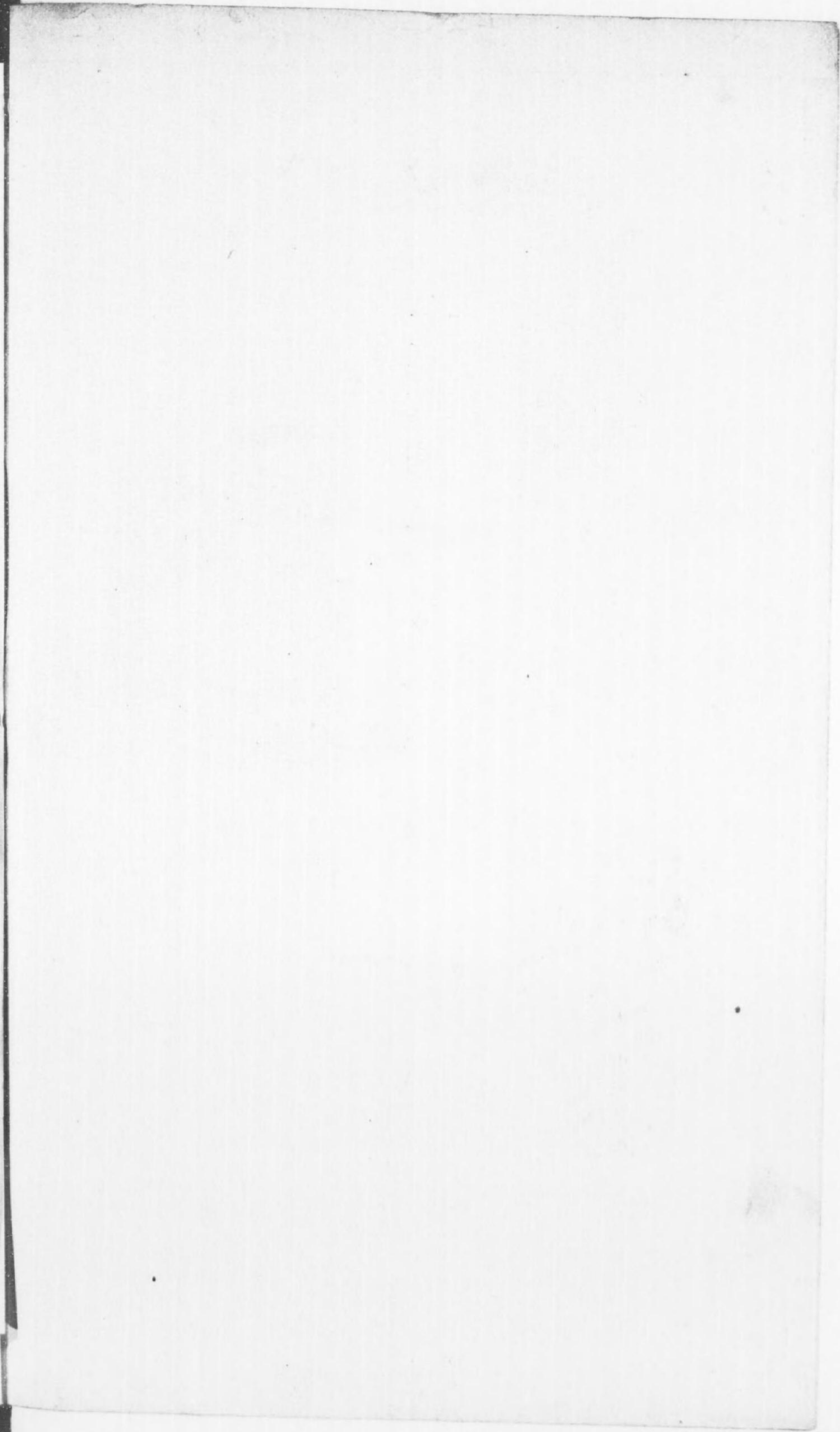
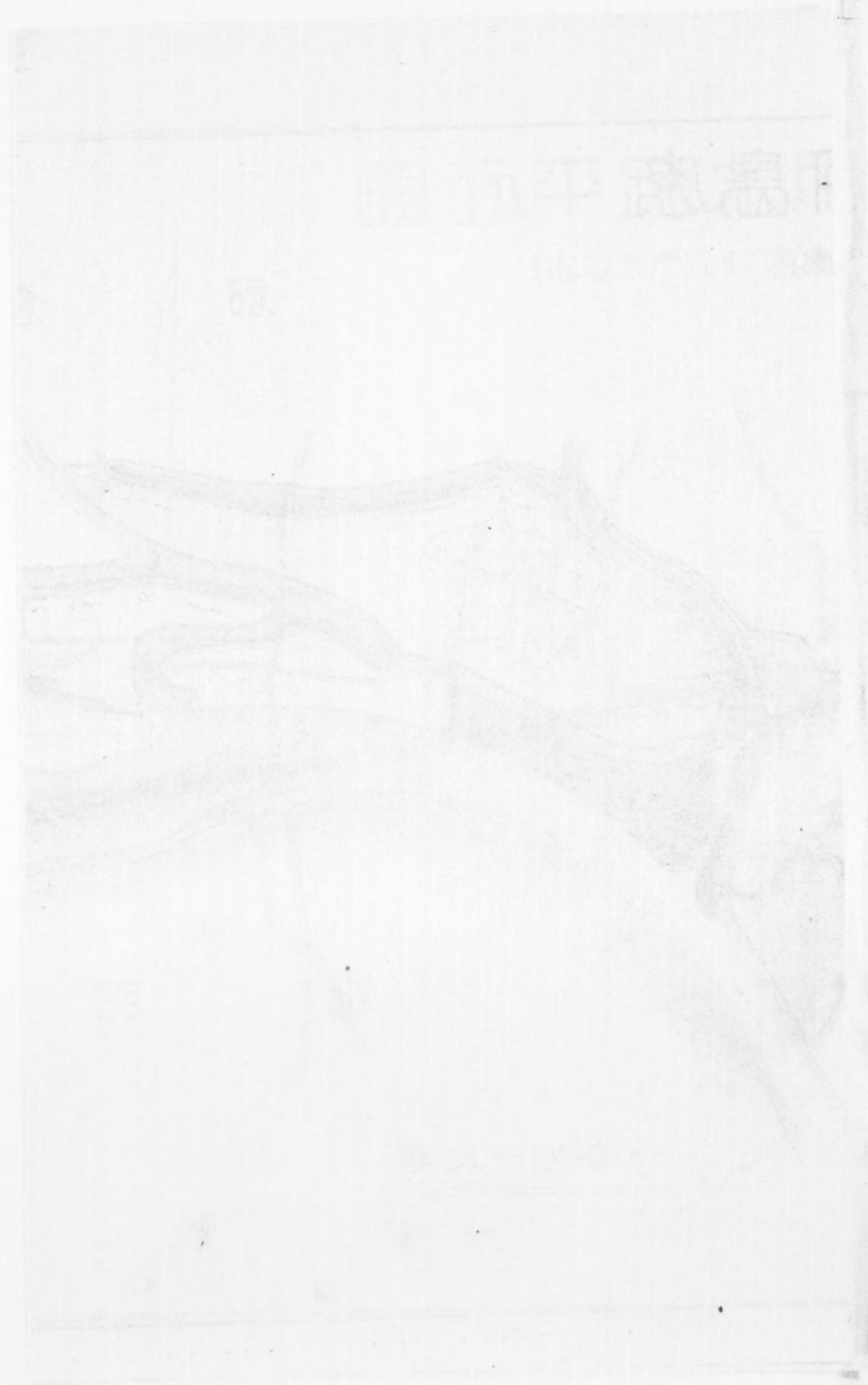
432

大堰神社と床島堰



始



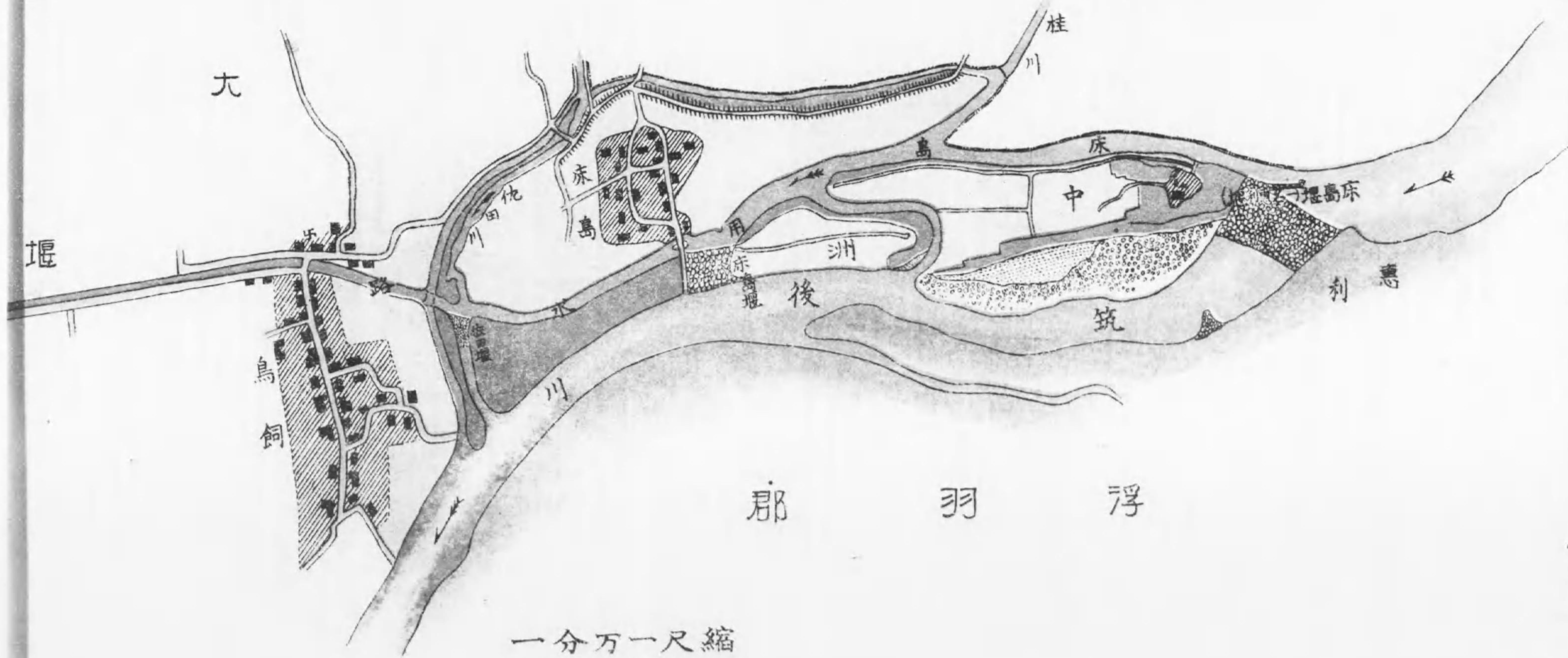


露光量違いの為重複撮影

床島用水路平路面圖

(床島堰引戸水道)

朝倉郡



浮羽郡

縮一尺一万分

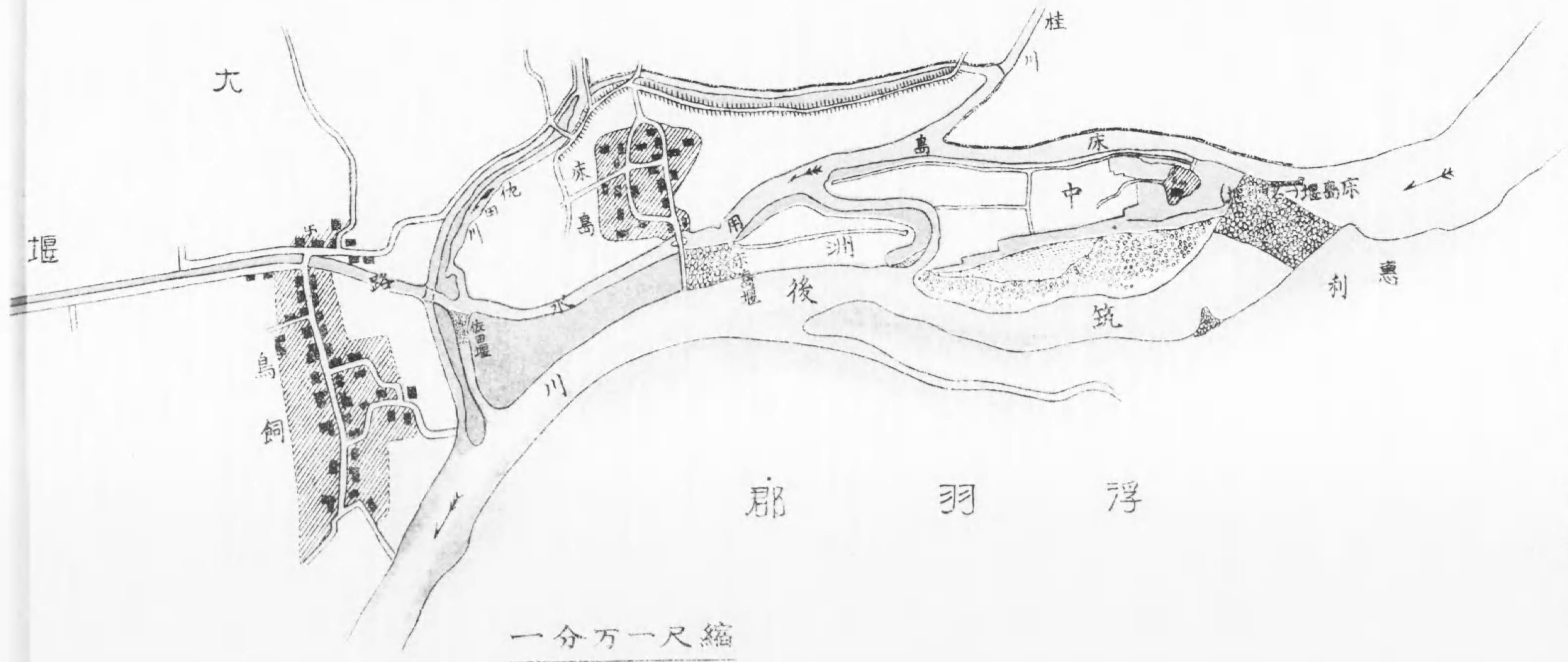
露光量違いの為重複撮影

床島用水路平路面圖

(床島堰引戸水戸道)

朝倉郡

浮羽郡

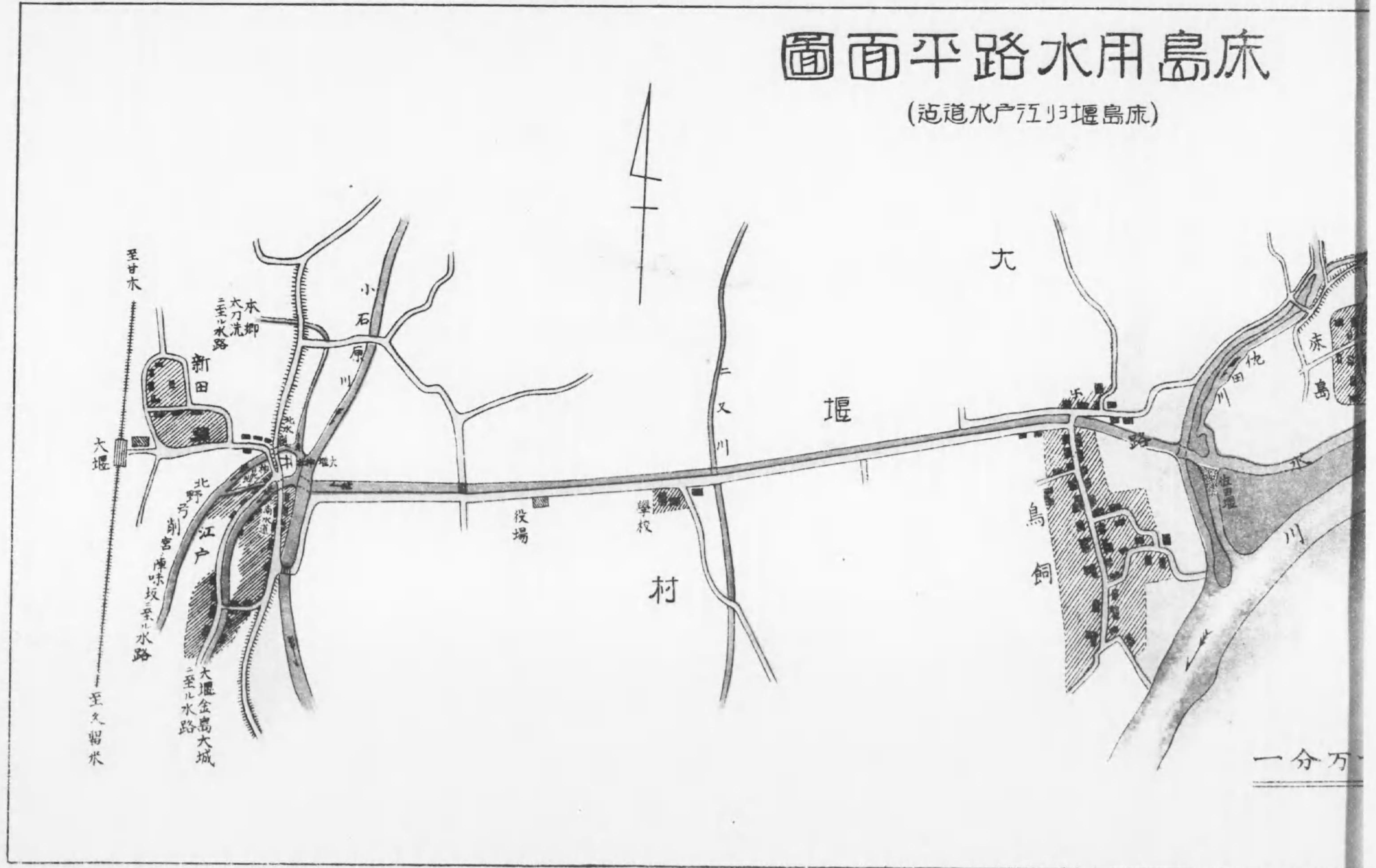


一分万一尺縮

露光量違いの為重複撮影

圖面平路水用島床

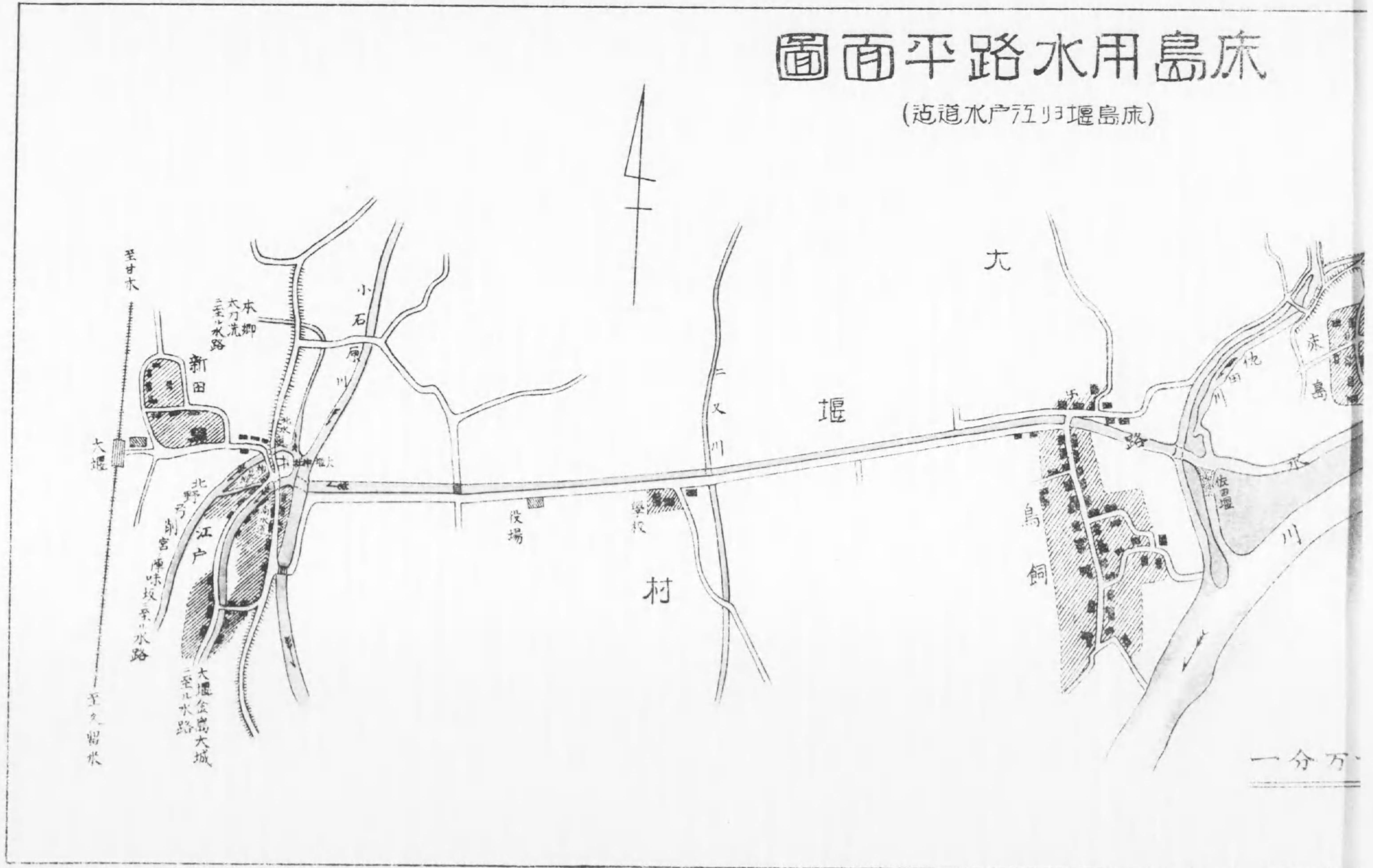
(迤道水戸江リ堰島床)

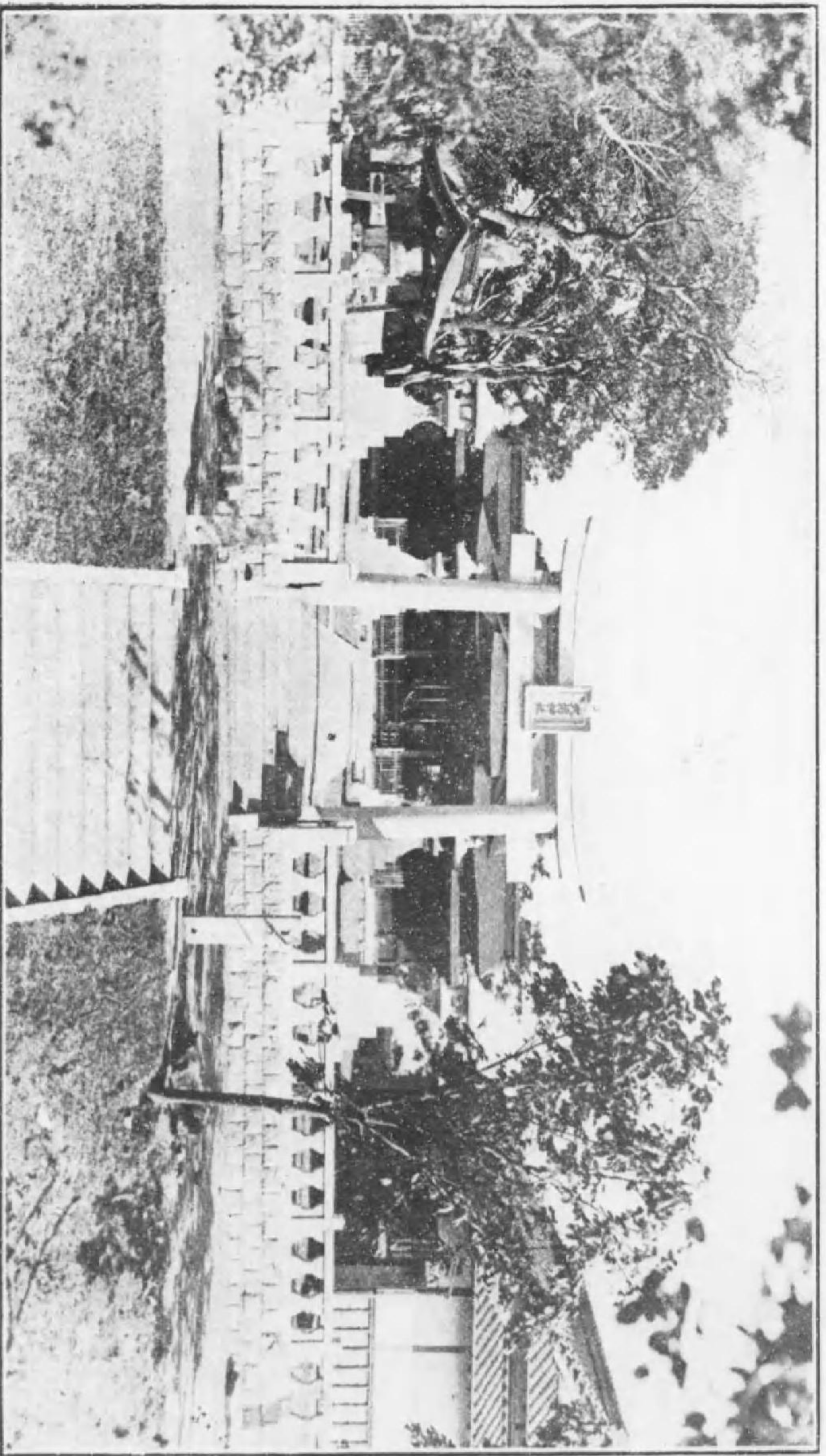


露光量違いの為重複撮影

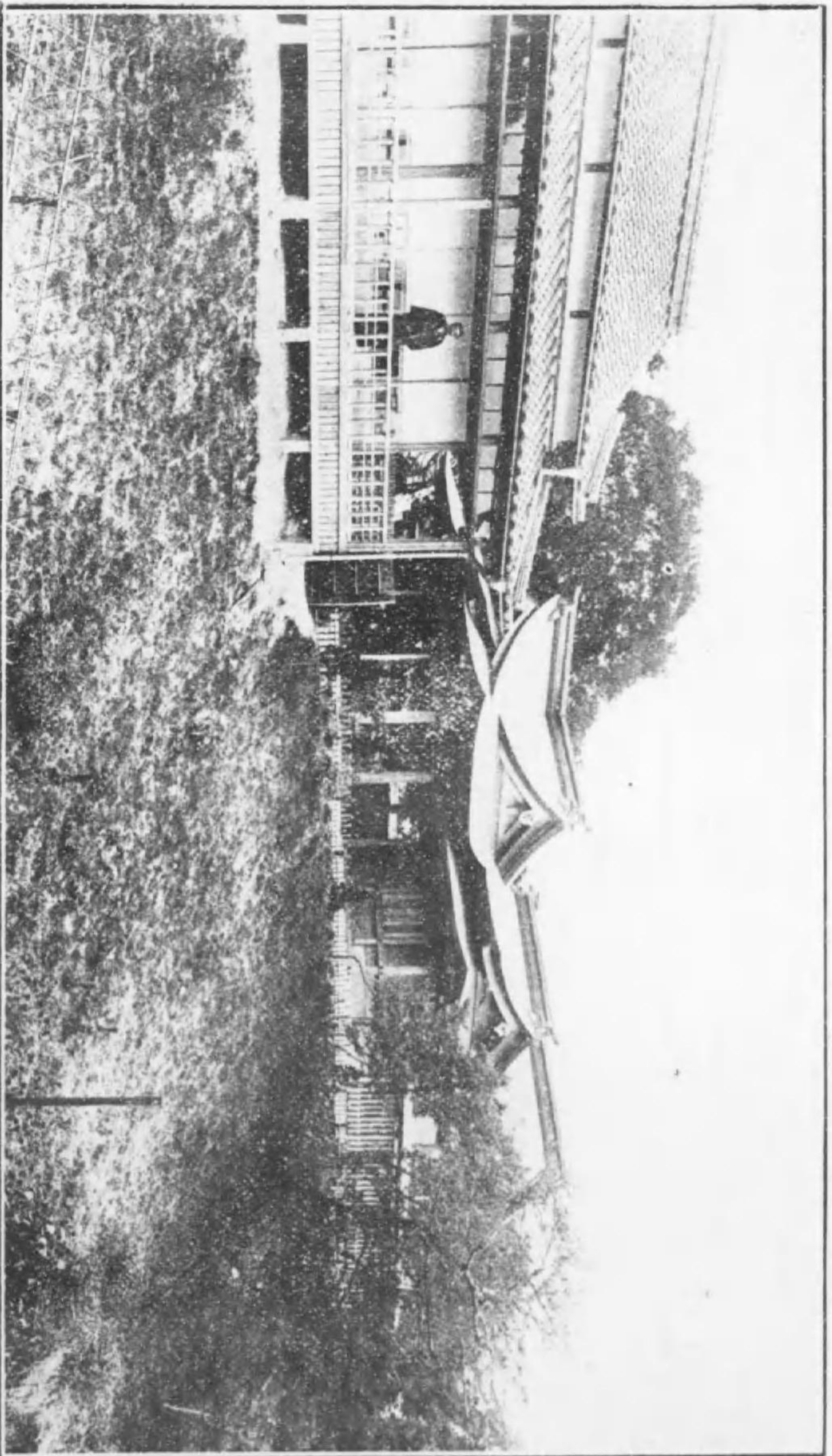
床島用水路平路面圖

(床島堰より江戸水道迄)

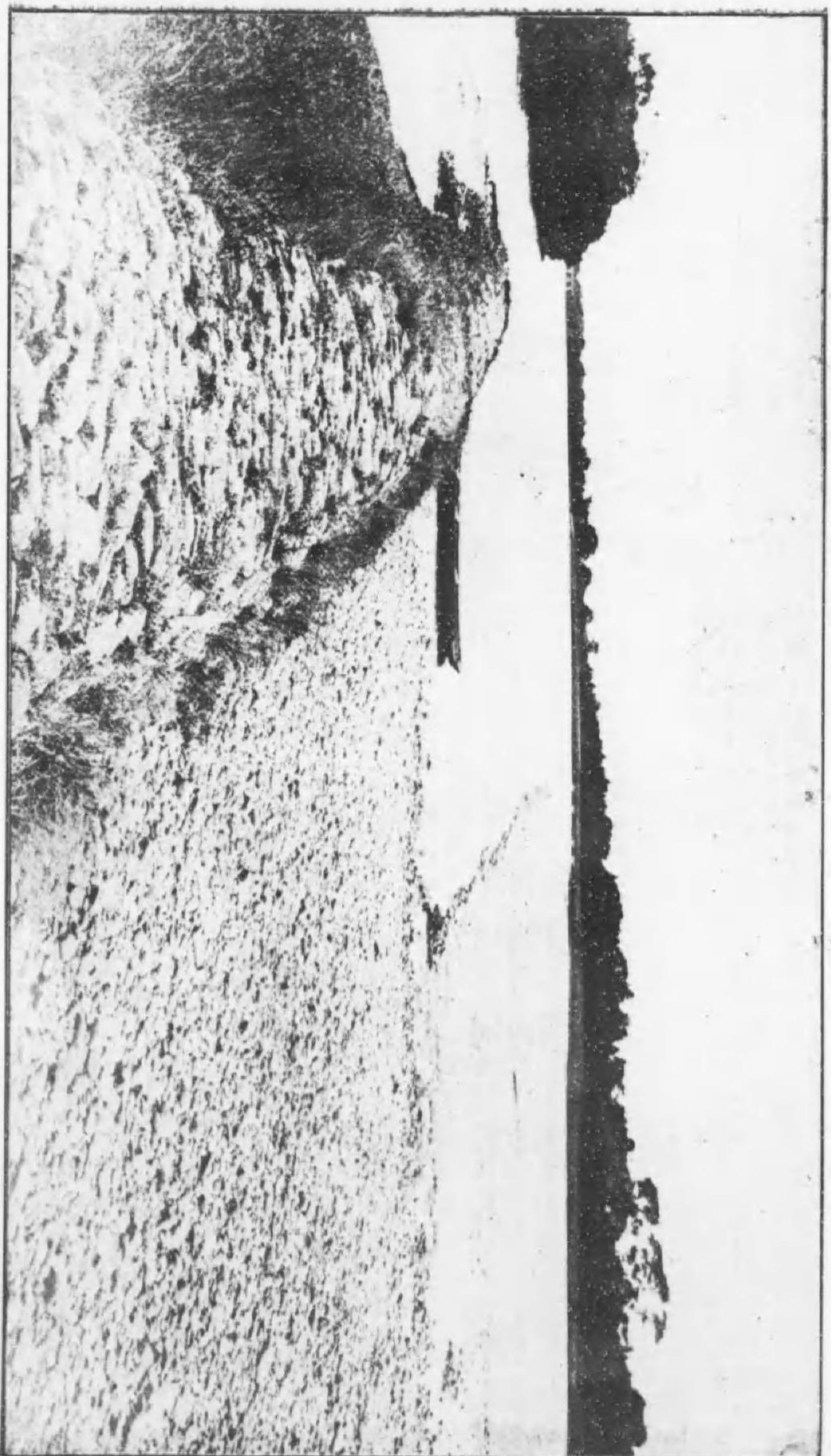




大堰神社 (福岡縣三井郡大堰村地内)



大堰神社ノ側面（福岡縣三井郡大堰村地内）



床 島 堰 (福岡縣三井郡大堰村地内)一名惠利堰向ヲ左床島用水路右筑後川本川

特 6
42

緒 言

筑後川筋床島堰一名黒利堰ト云ヒ三井郡大堰村ニ在リハ其灌漑スル處實ニ三千餘町歩ニ及ヒ工事ノ雄偉利澤ノ廣汎見

ルモノヲシテ驚歎セシム大正三年渠下恩惠ニ浴スル者相謀リ床島堰彰徳會ヲ起シ功績顯彰ノ途ヲ講

シ來リシカ畏クモ大正五年陸軍特別大演習ニ際シ車駕ヲ福岡ノ地ニ駐メ給フヤ特ニ從五位ヲ贈リ其

功績ヲ追賞セラル部民亦感激措ク能ハス神社ニ祭祀セムコトヲ企テ江戸水道ノ地ニ大堰神社ヲ建設

シ大正十四年十一月二十九日祭神ニ加列鎮座以テ永遠ニ報本反始ノ赤誠ヲ效サムトス茲ニ本社由緒

ノ梗概ヲ録シテ之ヲ頒ツコトトセリ

大正十四年十一月下浣

床島堰彰徳會長 吉原憲一

14. 12. 15
内交

一、堰ノ所在ト名稱

床島堰ハ三井郡大堰村ノ東端(元床島村)ニ在リ今ヲ去ル二百十餘年前 中御門天皇ノ正徳年間(正徳二年)一日竣工シ同四年改築ヲ加ヘテ完成ス此乃チ久留米藩主有馬梅巖公(則維)ノ時ニ成レリ
抑々本堰ハ筑後川ノ水ヲ堰キ止メ其北岸ヨリ幅約二十八間ノ新溝ヲ鑿テ之ヨリ河流ヲ導キ遠ク三井郡萬頃ノ平野ヲ灌漑スルモノナリ床島堰ト云フハ其新溝ノ起点ヨリ下流約五百五十間ヲ隔テテ溝ノ南岸ニ造レリ上口幅七十二間下口幅六十六間長三十六間ニシテ筑後川ニ通ス全部石ヲ以テ疊ミ溝岸ノ高サヨリ少シク低クキカ故ニ溝水著シク増加スレハ之レヨリ溢レテ筑後川ニ注ク乃チ溝ノ放水路ナリ此ヨリ下流約二百四十間ノ南岸ニ又佐田堰アリ乃チ北ヨリ來リテ十字形ニ新溝ヲ横斷セントスル佐田川ヲ堰キ其河水ヲシテ新溝ニ合流セシメタルモノナリ上口幅四十二間下口幅二十二間長三十八間ニシテ筑後川ニ通ス全部石ヲ以テ疊ミ溝岸ヨリ低クスルコト床島堰ニ全シ故ニ一面ニハ亦溝水調節ノ用ヲナセリ其筑後川ヲ堰キ止メタル堰ハ惠利瀬ニアリ上口幅百七十間下口幅百二十二間長百四十間全シク全部石ヲ以テ疊ム此堰ハ本工事ノ主点ニシテ又最困難ヲ極メタル處ナリ故ニ大体ヨリ見テ之ヲ總稱スレハ惠利堰ト云フヲ至當トスレトモ床島堰ト總稱シ來リタル所以ハ惠利瀬ハ筑前領ノ境ニアルヲ以テ當時國際上ノ紛議ヲ惹キ起サンコトヲ恐レ其名ヲ避ケタルモノナリト傳フ

二、起工ノ發端

御井郡御原郡ハ共ニ筑後川ノ北岸ニ在ル平野ナリ現在ノ三井郡ハ元ノ御井御原兩郡ト河南ノ山本郡トヲ合併シタルモノナリ而モ古來水利ニ乏シク時雨一タヒ候ヲ愆レハ居民頓ニ饑飢ニ迫マリ各村年々疲弊ニ赴ケリサレハ如何ニカシテ灌水ノ供給ヲ得ントハ久シキ間ノ懸案ナリキ然ルニ浮羽郡大石水道ノ開鑿セララルニ至リ其熱望層一層ニ高マリ之レニ倣テ一大水道ヲ開鑿スヘシトハ各村庄屋ノ口々ニヨリテ唱ヘラレタレトモ工事ノ地点ト想像セララル庄島村附近ハ筑後川ノ河幅廣クシテ水深ク流レ亦甚タ急ナリ加フルニ竹野御井兩郡ト肥筑兩國ノ境ニ當リ工事ノ困難折衝ノ煩雜實ニ想像ニ除レリサレハ率先シテ事ニ當ルモノナク遷延四十余年ヲ過セリ然ルニ爰ニ慷慨知數ノ人アリ奮然蹶起シテ大ニ衆心ヲ鼓舞シ終ニ起工ノ端ヲ開ケリ是レ即チ鏡村庄屋六右衛門稻數村庄屋清右衛門八重龜村庄屋新左衛門高嶋村庄屋甚右衛門等ナリ中ニモ鏡村庄屋六右衛門ハ齡僅三十二過キサレモ膽畧アリ知謀アリテ最奮進努力シタルカ如シ

三、宿志貫徹

六右衛門ハ豫テ新田開墾ノ志アリ一年伊勢ニ參宮シ途ニ大阪河口ニ至リ米穀酒樽等多數ノ船ニ滿載セラレタルヲ見テ頻リニ新田開墾ノ意ヲ増セリ歸リテ後一夕夢ム神ノ告ケナリトテ左ノ言葉ヲ聞ク醒テ明ニ記憶ス

不次の根や三葉四葉の富草は

依テ之ヲ書シ北野村大庄屋善左衛門ニ示シ其意ヲ問フ善左衛門曰ク之レ連歌ノ言葉ニシテ富草トハ稻ノ事ナリ新田成就子孫繁榮ノ意ナラントテ大ニ新田開墾ヲ獎ム蓋シ善左衛門モ常ニ此事ヲ希望シタレハナリ六右衛門大ニ意ヲ強ウス寶永七年六右衛門ハ早魁ノ爲ニ居民ノ頻リニ流離スルヲ慨シ斷然水道ノ開鑿ヲ志シ先ツ時ノ郡總裁本莊主計同市正父子ノ意見ヲ叩カント欲セリ恰モ好シ藩ノ目附遠山氏ノ隱居六郎左衛門野遊ノ途六右衛門ヲ訪フ同氏ハ七十歳ノ老人ナレトモ元氣アリ且ツ慈悲心ニ富メリ而テ本莊父子ト交リ好シ依テ六右衛門ハ水道開鑿ノ利益ヲ説キ本莊父子ノ内意ヲ質サンコトヲ託ス六郎左衛門快諾シテ本莊父子ニ告ク本莊父子頗ル感激シ公然出願セシムヘク自ラ家老ニ交渉シテ直ニ左ノ廻狀ヲ發セリ

廻狀寫(略文)

- 一、畑田ノ事
- 一、野開ノ事
- 一、山開ノ事
- 一、山中猪寄其外植立ノ事
- 一、藪開ノ事

右ノ品々存寄望ノモノ之レ有リ候ハハ輕重ニ依ラス他領他村ノ儀タリトモ遠慮ナク願出ツヘク候譬へ近郷近村ノ障リニナルトモ申出ツヘク候其段ハ吟味ヲ遂ケ申スヘク候右御家老中ヨリ仰セ聞ケラ

レ候以上

寅五月二十四日

本 莊 百 助 (後ニ主計ト改名)
同 加 兵 衛 (後ニ市正ト改名)

四

四、出願準備

六右衛門ハ此ノ廻狀ヲ一見セリ時ニ病床ニアリシモ欣躍措ク能ハス直ニ高嶋村庄屋甚右衛門ヲ訪ヒ其父子ニ面會シテ曰ク豫テ共ニ切望セル水道開鑿ノコトハ公然出願差支ナキコトニナレリ然レトモ一命ヲ擲ツノ覺悟ナケレハ成功覺束ナシ各位ノ決心如何ト甚右衛門父子亦固ク決スル所アリ大ニ賛成ノ意ヲ表ス乃チ六右衛門ハ公儀ニ對スル任務ニ從ヒ如何ナル故障ヲ生スルモ必ス志望ノ貫徹ヲ謀ルコトトシ金銀其他ノ支辨ニ對シテハ甚右衛門其任ニ當ルコトトシ互ニ堅ク契約ス之ヨリ六右衛門ハ願書ヲ調製セント欲シ六月十八日晴天ニ乘シ八重龜村庄屋新左衛門大城村長百姓長右衛門高島村庄屋甚右衛門同村長百姓喜兵衛手代又左衛門山本郡蜷川村卯左衛門等何レモ開墾ニ堪能ナルモノト謀リナンバン曲尺ヲ作り船ニ乘リテ床島ニ至リ筑前境早田村分ニ古荒籠ノ壞レ殘リアリタル處ニ曲尺ヲ立テ六右衛門ト又左衛門トハ水ニ涉リ込ミ川筋ニ目當ヲ附ケ漸次見下リタルニ境村東川表堤ノ内「クワンジ」ト稱スル高畑迄高低ノ差一丈六尺五寸アルコトヲ測定シ一同大ニ喜ヒ之ヲ郡總裁本莊市正ニ報ス市正乃チ速ニ願書ヲ呈出スヘク傳フ是ニ於テ更ニ斯道ノ名人タル竹野郡田主丸瀧廻リ六郎左衛門八重龜村大工甚左衛門ヲ雇ヒ境村庄屋六右衛門弟與左衛門高島村庄屋甚右衛門手代又左衛

門赤司村又三郎其他各村ノ庄屋同行ニテ床島村上古刎ノ水上ヨリ御井郡江戸前堤マテノ間ヲ曲尺ニテ測量セシメタルニ水乗充分ナルヘキヲ確メ愈々願書ノ調製ニ着手ス時ニ寶永七年八月ニシテ其願村名左ノ如シ

- | | | | |
|----------|------------|-----------|----------|
| 御井郡(三井郡) | | | |
| 守部村(大堰村) | 八重龜村(金島村) | 高嶋村(金島村) | 鏡村(金島村) |
| 大城村(大城村) | 乙吉村(大城村) | 乙丸村(大城村) | 赤司村(大城村) |
| 山須村(大城村) | 稻數村(大城村) | 仁王丸村(大城村) | 塚島村(大城村) |
| 中島村(大城村) | 千代島村(大城村) | 陣屋村(北野町) | 中村(北野町) |
| 今山村(北野町) | 十郎丸村(北野町) | 高良村(弓削村) | 鳥巢村(弓削村) |
| 石崎村(弓削村) | 上弓削村(弓削村) | 江戸村(大堰村) | 染村(金島村) |
| 下川村(大堰村) | 安永村(金島村) | | |
| 御原郡(三井郡) | | | |
| 今村(太刀洗村) | 下高橋村(太刀洗村) | | |
| 計二十八ヶ村 | | | |

五、願書呈出

晝夜兼行ヲ以テ繪圖設計並願書類ノ調製ヲ終リ將ニ呈出セントスルニ當リ何故カ上弓削、江戸、染、

下川、安永、今、下高橋ノ七ヶ村ハ之ニ加ハラサルコトナリ残り二十一ヶ村連判セリ斯クテ六右衛門ハ此願書ヲ携ヘ郡奉行國友覺右衛門仲長兵衛ノ許ニ呈出シ且ツ口頭ヲ以テ床島村附近ニ於ケル水陸ノ高低ニツキ其詳細ヲ陳述シ置キタリ時ニ寶永七年十月二十日ナリ此間ニ於ケル北野村大庄屋善左衛門ノ斡旋亦尠ナカラス

六

六、設計ノ大要

當初ノ見積書並願書等ニヨリ其計劃ノ大要ヲ擧クレハ大凡左ノ如シ

- 一、筑後川ヲ惠利瀬ノ處ニテ堰キ止メ其一部ニ水餘シテ造リ之ヲ舟通シトスルコト
- 二、堰ノ北岸ヨリ床島ニ向ケテ一大溝渠ヲ造リ河水ヲ之ニ導クコト
- 三、床島ニ水門ヲ設ケ其水門ヨリ吸收スル水ハ一條ノ溝渠ヲ流レテ一千二百餘間ヲ經過シ江戸前ニ至ラシメ之ヨリ漸次派ヲ分チ曲折廻流シテ三十餘村ノ田畝ヲ灌溉セシムルコト（床島ニ水門ヲ造ルコトハ後ニ設計變更ス）
- 四、新溝開通ノ曉ハ古田八百餘町歩ノ灌溉ハ勿論更ニ開墾シテ七百餘町歩ノ新田ヲ得ル見込アルコト
- 五、從來ハ上納米モ不足勝ナリシカ開墾ノ曉ニハ米大豆差引一ヶ年約七千俵ノ増米アル見込ナルコト
- 六、經費約五十貫目ヲ要スルコト

- 七、此經費五十貫目ハ藩府ヨリ借用シ年賦ニテ返納スルコト
- 八、人夫大凡八萬餘人ヲ要スヘケレハ總テ之ヲ郡役ニスルコト
- 九、水道ニ要スル材木乃チ松五六寸角長二間一尺モノ五千二百六十三本楠板長二間一尺巾一尺厚二寸モノ一千六十五枚六尺杭木二千九百七十本竹八百六十束其他各種ノ用材ハ附近ノ官山ヨリ無代拂下ヲ受クルコト
- 十、領内ノ大工ノミニテ不足スルトキハ他領ヨリ雇入ルルコト
- 十一、石材運搬船二十五隻ヲ要スルコト
- 十二、山石六百坪割石九百八坪石俵五萬八千二百俵ハ御井山本兩郡内便宜ノ山ヨリ無償採掘スルコト
- 十三、諸品買入ノ爲メ銀十貫目ヲ前借スルコト

七、筑前領ノ抗議

時ノ久留米藩王有馬梅嚴公ハ天資英明治道精勵ノ名君ナリケレハ六右衛門カ呈出セル願書ヲ一見シ大ニ之ヲ嘉シ有司ニ命シテ充分ノ便宜ヲ與ヘシメ工事監督トシテ野村宗之丞草野又六ヲ遣シ請フカ儘ニ官林ノ伐採ヲ許シ又銀子ヲ貸與シ將ニ工事ニ着手セントスルニ當リ此事ヲ傳聞セル筑前領ノ村民大ニ驚キ譬ヘ筑後領ナリトモ筑後川ヲ堰キ止メ床島ニ水門ヲ設ケハ洪水ニ際シ筑後川沿岸ノ筑前領ハ總テ水底ニ沈マントテ川越六之丞ト云フ者十一ヶ村ノ庄屋連署ノ抗議書ヲ持シテ我藩府ニ迫マレリ藩府爲ニ頗ル躊躇シ遂ニ之ヲ中止シテ空シク一ヶ年余ヲ經過ス鏡村庄屋六右衛門遺憾ニ堪ヘス

七

屢々久留米ニ赴キ目附役太田市之亟ニ内議々ルコト數回市之亟處置ニ苦ミ此上ハ神護ヲ祈リ奉ルノ外道ナカラシ高良山玉垂宮ハ九州屈指ノ名社ニシテ靈驗殊ニ著シ故ニ丹誠ヲ込メテ之ヲ祈リテハ如何ント云ヘリ六右衛門誠ニ然リトナシ即時久留米ヲ辭シ高良山ニ登リ神前參籠ノ許ヲ受ケ十二月八日午后十時頃ヨリ神前組戸ノ内ニ籠リ斷食七日其間一意專念祈願ヲ込メ十五日ノ朝滿願シ粥ヲ聚リテ歸宿セリ神ノ加護カ將タ赤誠ノ感應カ其後藩府ハ斷然起工セシムルコトニ決セリ乃チ草野又六ハ稻敷村庄屋清右衛門八重龜村庄屋新左衛門ニ大城村長百姓長右衛門高島村手代又左衛門ヲ附シ筑前德淵村大庄屋空閑彌左衛門方ニ遣シ「曩ノ抗議ハ頗ル無法ナリト思ハル左レトモ隣國ノ好ミトシテ一步ヲ讓リ水門ヲ二十町程引キ下ケ溝岸ノ堤防ヲモ築カス貴領ニ故障ナカラシメントス猶ホ異議アリヤ」ト問ハシメシニ唯異議アリト云フノミニテ具体的ノ事實ヲ云ハス遂ニ談判不調ニ終レリ是ニ於テ又六決スル所アリ更ニ書ヲ送リテ「貴領村々ヨリ示サレタル故障ノ件々ヲ除キテ工事ニ着手ス猶差支ノ點アラハ何時ニテモ申越サルヘシ」ト云フ意味ヲ示シ斷然起工スルコトトセリ

八、工事役割

正徳二年正月二十一日左ノ如ク担任者ヲ定メラル

- 一、普請奉行 野村宗之丞
- 一、普請總裁判 草野又六
- 一、御用手傳御用聞 鏡村庄屋 六右衛門

一、溝筋諸品裁判

守部村庄屋	善太郎
稻敷村庄屋	清右衛門
八重龜村庄屋	新左衛門
大城村長百姓	長右衛門
高嶋村庄屋	甚右衛門
同 俵	與三衛門
大城村庄屋	三左衛門
高良村庄屋	理左衛門
赤司村庄屋	吉右衛門
陣屋村庄屋	喜兵衛
千代島村庄屋	市右衛門
石崎村庄屋	彦右衛門
鳥巢村庄屋	三郎左衛門
十郎丸庄屋	庄左衛門
塚島村庄屋代	惣助

一、金銀仕拂預リ役

一、書付繪圖

一、水道大工山方

一、會所諸受拂

一、鍛冶山方

九、工事

斯クテ正徳二年正月二十一日ヨリ河堰工事溝掘工事等皆同時ニ開始セリ又六ハ善右衛門宅ニ六右衛門善太郎ハ半左衛門宅ニ宿シ毎日未明ヨリ現場ニ出テテ三千五百人ノ郡役夫ヲ指揮セリ然ルニ溝掘工事ハ着々進捗スレトモ堰水工事ニ至テハ其困難尋常ナラス如何ニ大木巨石ヲ投スルモ恰モ木ノ葉ノ如ク皆推シ流サレテ寸功ヲ見ス流石ノ又六モ術ノ施ス所ヲ知ラス失望ノ餘リ實家ニ歸リ一室ニ閉居シテ煩悶シ將ニ病ヲ起サントセリ抑又六ハ筑後山本郡蜷川村鹿毛宗五郎ノ二男ニシテ同郡草野村草野五左衛門ノ養子ナリ人トナリ俊偉膽量絶倫而シテ水利開墾ノ術ニ長スルヲ以テ拔擢セラレテ士班ニ列セリ此人ニシテ此煩悶アリ其工事ノ困難想フヘキニアラスヤ然ルニ其母亦非凡ノ女丈夫タリ又六ノ煩悶セルヲ見テ乃チ門前ニ呼ヒ耳納ノ山脈ヲ指シテ曰ク斯クモ多量ノ土石アルニアラスヤ若シ此山ヲ毀チナハ何ソ河水ノ堰止メラレサルコトカアルヘキトテ嚴然トシテ又六ヲ勵セリ又六之ヲ聞キ未タ努力ノ足ラサルコトヲ悟リ奮然トシテ起チ之ヨリ石及礫ヲ數隻ノ古船ニ積ミ船ト共ニ之ヲ水底ニ沈ム之カ爲僅ニ其基礎ヲ造ルコトヲ得タリ依テ更ニ附近ノ山々ヨリ數十萬ノ大石ヲ搬ハシメ猶ハ近村ノ廢碑ヲ集メ小石ハ別ニ俵ニ詰メテ五十萬俵ヲ作り一時ニ之ヲ沈メント欲シ二月晦日ヲ以テ三千五百ノ人夫ヲ悉ク堰所ニ集メテ一齊ニ作業セシム船ヨリ沈ムルモノアリ負フテ投スルモノアリ荷ヒテ運フモノアリ其行動千差萬別然レトモ指揮宜シキヲ得テ進退亂レス而モ勞スルモノニハ賞アリ過ツモノニハ罰アルヲ以テ人氣百倍一投一沈水怒リ波狂ヒ觀ルモノ爲メニ魂ヲ奪ハルサレハ巡

視中ナル家老有馬壹岐ヲシテ覺エス前代未聞ノ壯觀ト叫ハシメタリ斯クテ石堰モ畧ホ成就シ河水漸ク新溝ニ入ル然ルニ水門ハ筑前領ノ抗議ニヨリ當初ノ設計ヲ變更シテ新溝口ヨリ約三十六町床島堰ヨリ約二十町ノ溝末江戸前ニ設クルコトナレリ斯クテ又六ハ水門ヲ江戸前ニ造リ其流レヲ各村ニ分ツヘク三月上旬ヨリ人夫ヲ各所ニ配シ幹線トナルヘキ數條ノ溝渠ト支線トナルヘキ數百條ノ小溝トノ開鑿ニ着テセリ然ルニ惠利瀬ノ石堰ハ急劇ナル工事ニシテ未タ全ク完成シタルニアラスサレハ漏水多ク從テ新溝ニ注入スル水量豫期ノ如クナラス三月二十日本莊主計實地ヲ検査シ宿所鹽足宇兵衛宅ニ歸リ同夜普請奉行野村宗之丞草野又六ヲ始メ諸役ノ庄屋ヲ召シ集メテ曰ク新溝ノ水量甚タ不足ナリ止ムヲ得サレハ鏡村高嶋村ノ古田筋迄ナリトモ灌漑シ得ル工夫ナキカト衆相顧ミテ答フル能ハス只苦悶ニ時ヲ更カシ夜半各々歸散ス時ニ大雨降リシキリテ歸路困難一層苦痛ノ情ヲ増サシメタリト云フ

此夜又六ハ高嶋村庄屋甚右衛門宅ニ到リ其座敷ニ休ヒ本莊主計ノ下問ニ答ヘ能ハサリシヲ恥チテ寢スル能ハス甚右衛門ト共ニ種々研究ヲナセリ六右衛門ハ其次ノ間六疊敷ニ臥セリ彼亦轉々反側眠ル能ハスシテ千思萬考案遂ニ成ル乃チ枕ヲ蹴テ起チテ又六ニ謂テ曰ク不肖一案ヲ得タリ願クハ井上組ノ人夫百六人ト杭木及空俵ノ集レルモノトヲ貸與セラレヨ明後朝迄ニハ必ス新溝ニ水ヲ流スヘシト確信色ニ現レタレハ又六之ヲ許ス乃チ六右衛門ハ二十一日ノ夜床島ニ赴キ井上組人夫ヲ集メテ曰ク今夜一ノ大切ナル工事ヲナスベク爰ニ一同ヲ召集シタリ總テ余ガ命ノ儘ニ働ケ余ハ井上組ヲ以テ最強壯ナルモノト認メ此大切ナル工役ヲ命スルナリ能ク働キタルモノニハ明日ハ休暇ヲ與フ若シ違背

スルモノアラハソハ有司ヨリ嚴罰アル等ナリト斯クテ佐田川ニ至リ河口ヨリ上流六十間ノ間其西岸
一間幅ヲ開鑿シ其河口ニハ斜ニ杭木ヲ樹テ小石ヲ俵一入レ四人持ニテ之ヲ杭木ノ間ニ踏込ミ更ニ新
溝ニモ河口ノ對岸ニ當リテ多數ノ杭木ヲ打込ミタリ佐田川ノ水ハ之ニ湛ヘテ水嵩ヲ増シ新溝ニ流レ
入リテ其ノ水量ヲ増シタリ六右衛門大ニ喜ヒ船ヲ以テ本莊主計草野又六等ヲ迎ヘ之ヲ供覽ス何レモ
「六右衛門大出來々々」ト賞賛シタリ當時ノ記錄ニ之ヨリ六右衛門ノ棹取リニテ其船ヲ島飼村下ニ漕
キ付ケタリト其水量モ略ホ想像スルコトヲ得ヘシ

而シテ此工事ヲ斯クモ迅速ニ且ツ夜陰ニ作業シタルハ筑前領トノ紛議ヲ醸ス暇ナカラシメタルナル
ヘシ蓋シ佐田川ハ筑前領ナレハナリ之ニ因リテモ六右衛門ノ智畧非凡ナリシヲ觀ルニ足レリ

次ニ水門ノ位置ハ前ニ述タル如ク床島ヲ變更シテ其下流江戸前ニ設クルコトトナレリ然ルニ溝末各
村ノ庄屋ハ水乗リノ充分ナラサルヘキヲ認メ本莊主計ニ内願シ此水門ヲ引キ下ケ金操池〔江戸前ヨリ
南約二百間〕
ノ中程ニ据付ケントセリ同處ハ江戸前ヨリ地低ケレハナリ三月晦日高島村庄屋甚右衛門及善兵衛堰
所ニ來リテ此由ヲ傳フ六右衛門聞テ大ニ反對ス又六亦同シ依テ六右衛門ハ其不可ナル理由ヲ記シ之
ヲ藩府ニ奉ルヘク將ニ久留米ニ赴ントスルニ當リ實地檢査ノ報ニ接シ之ヲ中止ス翌四月一日本莊主
計ハ庄屋及各役人一同ヲ江戸前ニ集ム又六及六右衛門二人ハ南側ニアリ其他ハ皆北側ニ列ス此時本
莊主計曰ク水門工事ハ最モ重大ナル工事ナリ各々私ヲ離レテ充分ニ意見ヲ闘ハスヘシト乃チ又六曰
ク此水門ヲ引下クルトキハ將來永ク上郷〔高嶋方面ヲ上郷ト云ヒ
北野方面ヲ下郷ト云フ〕ヲ灌漑スルコト能ハス故ニ此位置變更
スヘカラスト大工頭安部次兵衛曰ク曲尺〔測量〕ヲ誤レリ水門ヲ下ケサレハ水ハ通セサルヘシト六右

衛門曰ク己ニ水ハ水門ノ前ニ來レルニアラスヤ必ス此水門ヲ通スヘシ請フ決行セラレヨト又六再ヒ
之ニ贊ス然ルニ他ニ一人ノ異議ヲ唱フル者ナケレハ主計モ止ムナク豫定ノ決行ヲ命シ四月二日ヨリ
晝夜兼行ヲ以テ水門布設ノ作業ヲ起シ漸ク開鑿ヲ終リシカ其地果シテ高キモノカ溝末庄屋ノ認メタ
ルカ如ク水之ニ達セス又六顔面燃ユルカ如クニシテ歎ス六右衛門ハ暫ク眼ヲ閉チテ遙ニ高長山玉垂
宮ニ默禱シ然ル後之ヲ見レハ溝水次第ニ増シテ水門ニ上リサテト流レテ何ノ障リモナカリキ蓋
シ水勢ノ精力ニテカクナリタルモノト思ハル六右衛門ハ之ヲ神靈ノ冥助ナリトシ地ニ伏シテ感泣シ
タリト云フ左モアリシナラン

水門ハ高低二ケヨリナレリ一ハ高五尺幅六尺一ハ高六尺幅六尺五寸各々長十二間構造頗ル堅牢ナリ
此水門ハ開ケハ即チ其水二條ノ幹線ニヨリテ一ハ上郷ニ赴キ一ハ下郷ニ走リ各々多數ノ支線ニヨリ
テ各村ニ至リ閉ツレハ則チ溝水悉ク小石原川ノ流ニ合ス運用誠ニ自在ナリ斯クテ床島堰ハ茲ニ漸ク
其大體ヲ落成シ各役人始メテ我家ニ歸ル其外泊實ニ八十日ナリ務メタリト謂フヘシ左レハ本莊父子
ハ欣喜措ク能ハス功勞最モ顯著ナル數人ヲ自宅ニ招キ慰勞ノ筈ヲ張レリ之ニ招カラレタルモノ左ノ
如シ

- 普請奉行
- 同總裁判
- 御井郡北野大庄屋
- 草野村宗之丞
- 秋山善左衛門
- 中垣清右衛門
- 稻敷村庄屋

八重編村庄屋
境村庄屋

秋山新左衛門
高山六右衛門

一四

十、惠利堰ノ改修

床島堰ハ正徳辰二年正月二十一日ニ起工シ同年四月十三日ニ成レリ其歲古田約八百餘町歩新田約四百餘町歩ニ灌溉セリ新田モ其歲ヨリ能ク登リ一反大凡六七俵ヲ得タリト云フ然レトモ惠利堰ニハ船通アルヲ以テ多量ノ河水之ヨリ逸シ新溝ヘノ注入充分ナラス爲ニ各村猶用水ノ不足アリ且ツ御原郡ノ平田、小島、上高橋、甲條、鞆木、古賀、八町島、戀之段、森、五郎丸、ノ十ヶ村モ亦配水ヲ懇願セルヲ以テ若シ之ヲ許セハ前願村二十八ヶ村ト併セテ三十八ヶ村トナリ水量益々不足スヘキヲ以テ久留米藩府ハ正徳四年之カ改築ヲ企圖セリ時ノ上奉行ハ田山善兵衛ニシテ普請奉行ハ野村宗之丞總裁判ハ草野又六ナリ又六ハ先ツ此船通ヲ閉塞シテ石堰ヲ増築シ以テ筑後川ノ水ヲ全ク新溝ニ注入セシメ船通シハ新溝ノ起點ヨリ下流約四百五十間ノ處ヨリ中曾(今ノ中洲)ノ地ヲ鑿リ筑後川ニ通スルノ計劃ヲ定メテ工事ニ着手ス中曾ハ筑後川ト新溝トノ間ニ挾マレル半島形ノ地ニシテ當時竹野郡早田村ノ領タリ此地ハ筑前領ノ長田村ニ接シ久シク荒蕪シテ其境界殆ト分明ナラス長田村ノ民又六ノ計劃ヲ聞キ大ニ驚ケリ何トナレハ惠利堰ノ船通ヲ閉塞スレハ河水停滯シテ長田村ノ土地ハ甚ダシク顯潤シ爲ニ耕作ヲ害シ殊ニ洪水ニ際シテハ多大ノ慘害ヲ醸スヘシト思惟シタレハナリ依テ中曾ハ筑前領ナリト唱ヘ此工事ノ妨害ヲ始ム乃チ石堤ヲ筑前領ノ岸ニ築キテ水勢ヲ激セシメ以テ惠利堰ノ

破壊ヲ試ミ或ハ亂杭ヲ植エテ作業船ノ通行ヲ防ケアラユル手段ヲ弄シテ之ヲ妨害ス又六ハ大ニ躊躇ス此時早田村庄屋善左衛門進ミ出テ曰ク此地ハ我祖先以來早田村分ト定マレリ如何ナル抗議アルモ不肖其責ニ當ラン何ソ躊躇ヲ要センヤト又六之ニ勵マサレ毎日二千ノ人夫ヲ指揮シテ工事ヲナセリ一日人夫ニ紛レテ長田村ヨリ六七千人亂入シ俄ニ投石ヲ始ム我亦應戰シ將ニ一大慘事ヲ惹キ起サントスルニ當リ風彩卑シカラサルモノ十二三人長田村ノ百姓ト稱シ又六ノ前ニ進ミ來リ此地ハ筑前領ナリ何カ故ニ之ヲ開鑿スルヤト詰問甚タ切ナリ此時善左衛門進ミ出テ此地ハ我祖先以來我早田村領ト定マレリ故ニ余ハ曩ニ之ヲ有司ニ證セリ粗忽アルヘカラスト反馭シタレハ忽チ多勢ニテ取巻キ捕ヘテ長田村ニ連レ行ケリ彼ノ長田村ノ百姓ト稱ヘタル十二三人ノモノハ福岡藩士ナリシコト後ニテ判明セリト云フ斯クテ長田村ニ於テハ善左衛門ヲ取巻キ晝夜嚴シク詰責スレトモ前言ヲ主張シテ敢テ屈セス遂ニハ善左衛門ノ手ヲ執リテ強テ誤リ狀ヲ書カシメントスレトモ固ヨリ應セス三ヶ月餘番卒ヲ附シテ日々責ムレトモ猶伏セス遂ニ得ル所ナクシテ放還セリ善左衛門ハ其呵責ノ爲メニ身體ノ自由ヲ失ヒ遂ニ其死因ヲナセリト云フ然ルニ一面又六ハ其虛ニ乘シ晝夜ヲ分タス工事ヲ急キタルヲ以テ久シカラスシテ改築工事ノ竣工ヲ告ケタリ乃チ惠利堰ノ船通ハ閉塞セラレテ河流ノ全部漫々トシテ新溝ニ注キ船通ハ新ニ中曾ニ開鑿セラレ水流奔瀉シテ飛瀧ノ如シ行舟ハ筑後川ヨリ新溝ニ入り此船通ヲ過キテ再ヒ筑後川ニ出ツルニ至レリ抑々早田村ハ中曾ヲコソ河北ニ有シタルナレ其殆ト全部ハ河南ノ地ニシテ水道成就スルモ固ヨリ毫モ其餘澤ヲ受ケス剩サヘ中曾ノ地ハ或ハ石堰ノ下ニ埋レ或ハ荒地トナリテ皆之ヲ失フ善左衛門敢テ

之ヲ願ミス却テ他郡公益ノ爲メニ一命ヲ賭シタル其義俠誰カ敬服セサランヤ善左衛門カ築堰ノ功ヲ容易ナラシメタル功績ハ決シテ没スヘカラス而シテ善左衛門ノ子ニ善六トイフモノアリ其後筑前領ヨリ屢々亂杭ヲ樹テテ防害ヲ加フルニ當リ身ヲ漁夫ニ擬シ夜中竊ニ水ニ入りテ毎々之ヲ拔キ取り父ノ遺志ヲ繼キタリト云フ

十一、灌溉反別ト水路

斯クテ堰渠ハ全ク完成シ漸次畝田ヲ増シ從テ用水路ヲモ延長セラレ灌溉普ク三十八ヶ村ニ及ヘリ而シテ享保十年ヨリ此用水筋ノ取締ハ全部之ヲ北野村大庄屋秋山氏ニ命セラル今同庄屋カ元文元年(完成後二十二年)ニ實測シタル所ニヨレハ

灌溉反別

一千九百三十九町二反八畝十五步

從來ハ古田八百餘町步ナリシニ堰渠竣工ノ翌年ノ作付ハ古田八百八十七町四反餘新田五百四十町二反餘計一千四百二十七町七反餘トナリ

二十三年ノ後ニハ古田新田合セテ一千九百三十九町餘トナリ

現今ニ至テハ約三千町步ノ田畝此灌溉ヲ受ケツツアリ

水路ノ延長

七萬七千五百三十間

内 譯

二千九百九十七間

新川口ヨリ江戸水門ニ至ル

七萬五千三百三十三間

江戸水門以下支線共百三十三條分

水道ノ數

二百八十四ヶ所

橋梁ノ數

五百二十ヶ所

十二、竣工後ノ筑前領トノ關係

床島堰渠工事ニ對シテハ筑前領ノ抗議甚タシカリシカ竣工後ノ實際ニ於テハ吉末、倉園、白鳥、村ノ如キハ却テ水利ヲ得ルニ至レリ洪水ニ際シテモ別ニ從來ト大差ナキモ感情ノ上ヨリ恨ヲ抱クコト深ク其防害ハ工事當時ニ異ナラス或時ハ亂杭ヲ植ヘ或時ハ溝堤ヲ毀テ或時ハ堰石ヲ禿キ探レリ享保二十一年六月出水ニ際シ筑前領ノ者多數夜ノ風雨ニ乘シ又々井堰破壊ヲ企テタリ番人善右衛門父子死力ヲ盡シテ漸ク之ヲ攘ヒ事ナキヲ得タリ之ヨリ藩府ハ防禦ノ用トシテ常ニ銃五挺彈藥若干ヲ番人ニ授ケ置クコトトセリ

又長田村附近ハ別ニ大ナル損害ナシトハ云ヘ佐田川ヲ堰キ止メタル結果土地ノ濕潤漸ク其度ヲ過キルニ至レリ依テ下長田村ヨリ一直線ニ西ニ走り佐田川ヲ貫キ進テ新溝ニ至レル濕拔溝ヲ堀レリ其長

一八
サ十數町又佐田川ノ下流ニモ支線ヲ作リテ濕拔ノ用ニ供シ前者ト共ニ新溝ノ底下ヲ貫キ筑後川ニ流出セシム此加工ニヨリ土地乾キテ更ニ耕作ニ妨ケナキニ至レリ

十三、表 彰

床島堰渠工事ニ關シ鏡村庄屋六右衛門ノ功勞拔群ナリシヲ以テ第一工事竣工後即正徳三年ノ秋本莊主計ハ之ヲ藩主ニ具申シ草野又六ヲ以テ米石下賜ノ恩命アルヘキ由ヲ傳ヘシム(米四十俵ノ筈ナリシト)然ルニ六右衛門ハ此堰渠ノ成就ハ神佛ノ冥助ト藩主ノ威徳ト主計又六兩氏ノ勤勞ト又時節到來ノ致ス所我等如キ匹夫ハ只之ニ參加シタルノミナレバ何ノ功モナシトテ固ク辭シ遂ニ之ヲ受ケサリシト嗚呼何ソ夫レ其精神ノ高潔ナルヤ聞クモノ襟ヲ正ササルモノナカフン
明治十九年御井御原山本郡長川村作摩氏ノ申請ニヨリ時ノ福岡縣令ハ左ノ通り追賞セラル

山本郡草野村

故草野又六

生前筑後國御井郡御原郡ノ養水ニ乏シク常ニ旱害ヲ蒙リ地瘠セ穀熟ラサルヲ憂ヘ故高山六右衛門外三名トカヲ協セ堅忍不撓以テ百難ヲ凌キ幾多ノ資財ヲ擲チ床島一大堰ヲ竣功セシメタル段公益偉ナリ依テ金參拾圓追賞候事

明治十九年六月九日

福岡縣令代理

福岡縣大書記官從五位勳六等伯爵 廣 橋 賢 光

御井郡元鏡村

故高山六右衛門

生前云々(前全文)故秋山新左衛門外三名トカヲ協セ以下同文

御井郡八重龜村

故秋山新左衛門

生前云々故中垣清右衛門外三名トカヲ協セ以下同文

御井郡稻敷村

故中垣清右衛門

生前云々故鹿毛甚右衛門外三名トカヲ協セ以下同文

御井郡元高嶋村

故鹿毛甚右衛門

生前云々故草野又六外三名トカヲ協セ以下同文

丸林善左衛門ハ當時功績ノ隠レテ傳ハラサリシ爲平此ノ追賞ニ漏レタルモ其ノ俠勇悲壯開墾事業ヲ助成シタルノ功ハ決シテ没スヘカラス
大正五年ノ秋陸軍特別大演習ヲ肥後ノ野ニ行ハセラレ大轟ヲ福岡縣下ヘ進メ給フニ當リ同十一月五日六士ニ對シ左ノ通其ノ功績追賞ノ恩命下レリ

(通各)

特旨ヲ以テ位記ヲ贈ラル

大正五年十一月十五日

故	故	故	故	故	故
丸	鹿	中	秋	高	草
林	毛	垣	山	山	野
善	甚	清	新	六	野
左	右	右	左	右	又
衛	衛	衛	衛	衛	六
門	門	門	門	門	六

(通各)

贈從五位

大正五年十一月十五日

故	故	故	故	故	故
丸	鹿	中	秋	高	草
林	毛	垣	山	山	野
善	甚	清	新	六	野
左	右	右	左	右	又
衛	衛	衛	衛	衛	省
門	門	門	門	門	六

宮内大臣從二位勳一等男爵 波多野敬直宣

十四、大堰神社ト床島堰彰徳會

床島堰渠ノ築設ハ渠下生民ノ利澤タルノミナラス實ニ生産ノ基本ヲ定メ國家ノ鴻益ヲ圖リタル一大事業ニシテ世人ノ等シク尊崇敬慕スル所ナリ左レハ此ノ恩惠ニ浴スル渠下ノ郡民ハ功勞者カ當時祈願ヲ籠メタル江戸水道上ノ水神社ニ於テ毎歲祭典ヲ營ミ謝恩ト豊穰ヲ祈念シ來リシカ去ル大正二年築堰二百年ニ相當シタレハ同十一月堰ノ畔ニ於テ大祭ヲ執行シ續テ大正三年關係民ヲ網羅シテ床島堰彰徳會ヲ組織シ功勞者ノ事績ヲ顯彰スルト共ニ神社ニ祭祀セムコトヲ企テタルモ機ノ到ラサルモノアリ急速之ヲ實現スルニ至ラス漸ク大正十二年三月十四日許可ヲ得テ水神社ト天滿神社ヲ合併シテ村社大堰神社ト改稱シ江戸水道ノ地ニ建設スルノ計畫ヲ定メタリト雖巨額ノ經費ヲ要スルカ爲遲々トシテ進マス大正十三年四月ニ迨ヒ機ハ愈熟シ既定計畫ニ幾多ノ變更ヲ試ミ更ニ神苑新設ノ計畫ヲ立テ同月二十三日ニ至リ漸クニシテ起工ノ式ヲ舉ケタリ爾來關係町村及用水組合ノ協力ト地方有志ノ援助ニ依リ彰徳會ニ於テ建築其ノ他ノ設備ノ一切ヲ完成シ功勞者草野又六以下六士ヲ祭神ニ加列シ大正十四年十一月八日ヲ以テ茲ニ鎮座大祭ヲ執行スルニ至レリ

十五、大堰神社建築工事

建築ノ設計ハ最新ノ形式ニ則リ神殿横二間入一間三尺拜殿横四間二尺入三間一尺渡殿横二間一尺

入三間神饌所横二間三尺入二間神職控所横二間三尺入二間、社務所横五間四尺入三間三尺手水屋横一間入一間ノ建物ヲ配置シ用材ハ社務所ヲ除キ總テ臺灣阿里山檜材ヲ用イ屋根ハ銅板ヲ以テ之ヲ葺キ莊巖ト堅牢ヲ主トシ建築ノ精巧ヲ期シ大正十四年十一月ヲ以テ全ク成工ヲ告ケ更ニ功勞者高山六右衛門遺族ヨリ燈籠一對、秋山新左衛門遺族ヨリ燈籠一對狛犬一對、中垣清右衛門ノ遺族ヨリ鳥居一基並水盥一個ノ寄附ヲ得テ設備完全スルニ至レリ然ルニ境内地ハ水道上ニシテ狹隘ナルモ擴張ノ餘地ナキヲ以テ社前約一千坪ノ一團地ヲ劃シ神苑ヲ設ケタリ

參考 床島堰創築關係者一班
經營ノ有司

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 家老 | 有馬要人 | 總奉行 | 本莊主計 |
| 總奉行 | 本莊市正 | 郡奉行 | 中村齊兵衛 |
| 郡奉行 | 田山善兵衛 | 郡奉行 | 國友覺右衛門 |
| 郡奉行 | 松下三郎右衛門 | 郡奉行 | 沖長兵衛 |
| 普請奉行 | 野村宗之丞 | 總裁判 | 草野又六 |
| 民間ノ勤勞者 | | | |
| 北野村大庄屋 | 秋山善左衛門 | 鏡村庄屋 | 高山六右衛門 |
| 稻敷村庄屋 | 中垣清右衛門 | 八重龜村庄屋 | 秋山新左衛門 |
| 高嶋村庄屋 | 鹿毛甚右衛門 | 全俵 | 全俵與三衛門 |

- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 早田村庄屋 | 丸林善左衛門 | 守部村庄屋 | 秋山善太郎 |
| 大城村長百姓 | 日比生長右衛門 | 大城村庄屋 | 久富三左衛門 |
| 高良村庄屋 | 黒岩理左衛門 | 赤司村庄屋 | 池邊吉右衛門 |
| 陣屋村庄屋 | 上瀧吉兵衛 | 千代島村庄屋 | 後藤市右衛門 |
| 石崎村庄屋 | 稻吉彦左衛門 | 鳥巢村庄屋 | 田中三郎左衛門 |
| 十郎丸村庄屋 | 田中庄左衛門 | 塚島村庄屋代 | 内野惣助 |
| 高島村手代 | 又左衛門 | 床島村 | 善三郎 |

以下省略

床島堰彰徳會役職員氏名 (大正十四年十一月現在)

- | | | |
|------|------|-------|
| 會長 | 三井郡長 | 吉原憲一 |
| 副會長 | 北野町長 | 鈴木利十 |
| 同 | 大城村長 | 原口左太郎 |
| 建築委員 | | |
| | 大堰村長 | 實藤徳次郎 |
| | 金島村長 | 秋山修三郎 |
| | 弓削村 | 村井祐次郎 |

事務員

大城村 福田芳太郎
北野町 井上清次郎

三井郡書記 小江健守
同 鐘江健藏
猪口彌太郎

工事監督
評議員

本郷村長 佐々木謙八郎
大刀洗村長 堀内清吾
宮ノ陣村長 石橋柯吉
味坂村長 西山新吉
弓削村長 田中新一
大堰村 松熊茂藏
金島村 秋山仁藏
同 井口力太郎
同 馬場丑太郎
大城村 中垣淺吉

大城村 秋山藤兵衛
同 福島岩太郎
同 北野町 上瀧正衛
同 田中善政
同 田中安五郎
宮ノ陣村 關中安五郎
同 岩橋壽三郎
同 飯田重次郎

294
231

大正十四年十一月二十日印刷
大正十四年十二月五日發行

非賣品

福岡縣三井郡役所内

發行人 床島堰彰德會長 吉原憲一

福岡縣福岡市橋口町四十三番地

印刷者 間藤次郎

福岡縣福岡市橋口町四十三番地

印刷所 秀巧社印刷所

終

